

・ ・ 子育て世帯 ・ ・

・ ファミリーサポートセンターの充実とアピール

ファミリーサポート ・ ・ ・ 保育園 ・ 幼稚園 ・ 特別支援学校の送迎や、子どもの預かり、習い事への送迎などで利用できる。

現在の提供会員の登録数（地区別）をホームページ等に載せ、近くに提供会員がいることがわかれば利用する人が増える。

利用した人達が今後、提供会員になってもよいという人が増えれば、さらに「子育てしやすいまち」としてアピールできる。

・ 保育園、幼稚園の早朝保育

保育園 ・ 幼稚園の保育開始時間前に出勤する夫婦に対し、その時間まで預かり保育園に送るシステムをつくる。

（ファミリーサポートの充実につながる）

・ 育休だけではなく、時短休がとりやすい社会をつくる。

男性が育休をとって、子育てが楽になったと感じる女性が何割いるか ・ ・ ・

（昼間、夫が家にいても、旦那の食事作りなどで、妻の負担が増えるだけでは？）

朝 ・ 夕の忙しい時間に夫がいて、夫が家事の手伝いや子供の世話をする。

夫が昼間いなくても、家事負担が少なければ、妻は子どものお世話中心に過ごすことができる。

- ・病児保育施設の増設

現在、病児保育施設は、直江津・高田地区にしかない。

これでは、13区に住んでいる家族は不便である。

13区すべてではなくても、乳幼児健康診査を行う会場の区（大潟区・三和区・板倉区・）プラス浦川原区に病児保育施設を設置する。

- ・こどもプールの増設

現在、12カ所あるこどもプールだが、すべて合併前上越市のみである。

新設するのは予算・土地等 問題が大きいですが、既存の施設を利用できるようにすれば
予算としては、負担は少ないのでは。